

2018年5月21日

電通、テレビ番組・CMの放送内容にインターネット広告とDOOH広告をリアルタイム連動させる広告入札・配信管理システム「STADIA Live」を開発

株式会社電通（本社：東京都港区、社長：山本 敏博）は、テレビ番組・CMの放送内容にインターネット広告とDOOH*広告をリアルタイム連動させる広告入札・配信管理システム「STADIA Live」（スタジア ライブ）を開発しました。その広告効果を検証する実証実験を、本日より開始します。

本サービスの活用により、テレビ番組内で取り上げられた場所、人物、モノなどのキーワードや、スポーツ試合の得点シーン、テレビCMの内容にリアルタイム連動させて、インターネット広告の入札を自動的に開始／終了させたり、入札金額を変更したり、広告クリエイティブの変更を行ったりすることが可能になります。また、DOOH広告においては、事前に購入した広告枠のクリエイティブの変更を自動で行えるようになります。

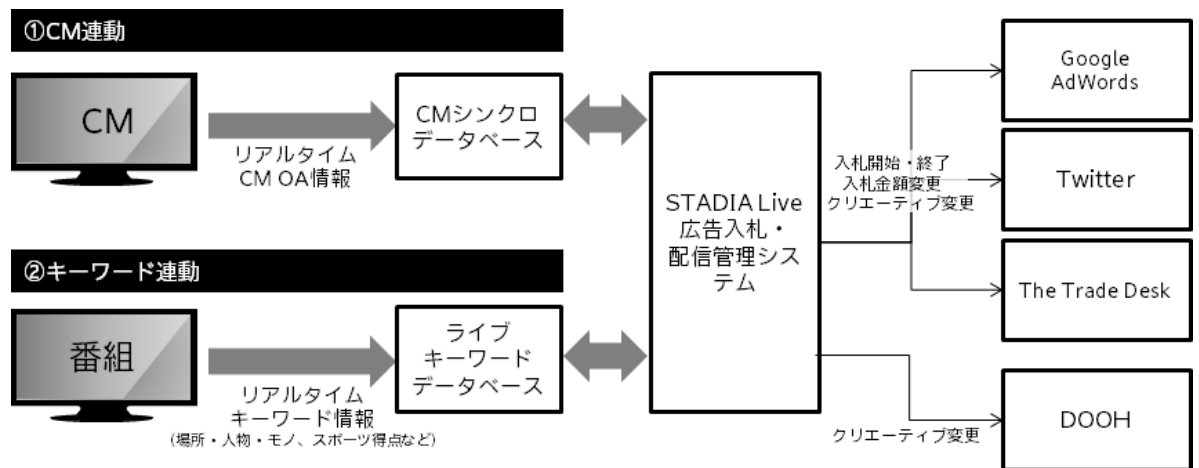
「STADIA Live」の開発段階で実施したトライアルでは、テレビCMとインターネット広告のリアルタイム連動によって、広告主サイトへの新規来訪率が向上しています。また、テレビ番組に登場したキーワードとのリアルタイム連動では、広告への注目度やコスト効率が向上するなどの効果が見られました。

本サービスは、2016年1月に当社が開発した「TV Live Meta Module (β版)」（テレビ・ライブ・メタ・モジュール・ベータ版）と運用型広告の入札システム、およびDOOHへの広告配信システムを連携させることで実現しました。現在連携している入札システムやメディアは、Google AdWords、Twitter、広告運用プラットフォームのThe Trade Desk、一部のDOOHなどです。まもなく電通PMP（プライベートマーケットプレイス）とも連携する予定で、対象メディアも順次拡大していきます。（「STADIA Live」の仕組みは下図参照）

今後当社は、「STADIA Live」を顧客企業によるさまざまなキャンペーンで活用することで、テレビ／インターネット／DOOHをつなぐ相互の広告効果の可視化および検証と、システムの更なる機能向上を推進していきます。

*DOOHとはDigital Out of Homeの略で、屋外や施設などに設置されているデジタルサイネージのこと。

【STADIA Live の仕組み】



以上

【本件に関する問い合わせ先】

株式会社電通 コーポレートコミュニケーション局 広報部
 長澤、竹村 TEL : 03-6216-8041

本サービスは、株式会社電通と株式会社電通デジタルが連携して推進しています。